

ごとう通信

第 226 号

令和元年10月1日

台風が関東直撃するようなコースをとるようになったんですね。しかも、千葉のようなところで大きな被害が出るとは驚きでした。何となく、東京の隣と言うことで、自分たちと同じくらいの被害だったのかと勘違いしていました。農作物などの被害は東日本の震災以上ともいわれました。早く完全復旧していただきたいですね。

とは言え、わが家も少し被害がありました。ベランダの（木製）塀が一部破損。引越してから一度もそのようなことがなかったのに、やはり想定外の強度（風力）だったのだと思います。

地球環境は明らかに変化しています。「想定外」も想定しなければなりませんね。

さて、先月から若い医療者たちを対象にした小さな勉強会を始めました。いわゆる学術論文を読み、解説をするというものです。以前は大学に残っていましたから論文を読むということは日常的だったのですが、最近はそのような勉強をしていなかったもので、最初はすごく難しく感じました。その後、何本か論文を読んでいき、ようやく慣れてきて、読み方や解釈の仕方も思い出してきました。

本当に勉強してなかったなあと思



省。少し勉強しないとなあ…とは思いましたが、やるかどうかはまた別の話。

タベマチフォーラム

先月1日、第3回最期まで口から食べられる街づくりフォーラム全国大会（タベマチフォーラム）を開催しました。今回も多くの方に参加いただき、大いに盛り上がりました。

今回の目玉は石川県から来ていただいた佛子園の雄谷良成さん。高齢者も若者、子供も、元気な人も障害のある人も一緒に生活をする街を作った方です。まさに「ごちやませ」社会。3月にタベマチ祭りを開催した時、子供から高齢者まで、障害のある方も参加していただき、ワイワ



イしている霧
困気で勢いを
肌で感じまし
た。いろいろ
な方が集まっ
ていることが
「街づくり」
の基本である
と知りました。

フォーラムのディスカッションで
は、高齢の方から「自分たちも街で
活動しているが若い人が集まってこ
ない」という質問がありました。確
かにそうなんです。日中働いている
若い方たちと、平日の日中集まって
いる高齢者の方たちとは時間的に
接点がないのです。だからこそ、生
活の場がごちゃ混ぜじゃないとダメ
だなあと思いました。

石川県の雄谷さんのように、ハー

ド（建物）から作るというのは難し
いかもしれませんが、新宿で出来る
ことを考えていきたいですね。

宅配弁当

僕たちの仲間に、高齢者の宅配弁
当会社「ライフデリ」の方がいます。

彼らは、味にこだわっているという
ことで、利用者の方からの評判も
上々です。ただ、それが毎日続くと
「飽きた」と言われます。結局は別
の会社に変えたり、しばらくすると
また戻したり。これは本当にしよ
うがないことだと思えます。だって、
同じ容器だし、メニューは変わって
も味の雰囲気は変わらないし。

ただ、各会社の努力や工夫はすご
いんです。毎日健康に気を付けたお

弁当を持ってきてくれてコンビニ弁
当並みのお値段です。

そこでぜひ、一般の方にも配食弁
当業界のことを知って欲しいと思い、
イベントをすることになりました。

今月20日（日）、大久保にある甘
塩スタジオで「宅1グランプリ」を
開催します。宅配業者4社（ライフ
デリ、ベネッセ、ワタミ、クック1
23）の説明や試食会など。参加費
は100円、時間は11時から12
時半、12時半から14時の2交代
制です。長居してもらってもいいで
すし、試食だけして帰るといいこと
も可能です。現在、お弁当を利用さ
れている方でも、興味ある人など誰
でも歓迎です。参加申し込みは以下
のQRコードからでも、直
接私たちに言っていただ
いても結構です。

